

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	10
部	子ども健康部	課	子育て支援課

1. 指定概要

施設概要	名称	八幡こどもの家		建設年	平成29年		
	所在地	近江八幡市本町5丁目5		利用対象	地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	延べ床面積183.84㎡、地上1階					
指定管理者	指定管理開始年度	平成18年					
	名称	NPO法人はちまんキッズ					
指定管理業務の内容	所在地	近江八幡市金剛寺町811					
	①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務						
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）						
指定管理料	平成31（令和元）年度：千円		令和2年度：千円		令和3年度：千円		令和4年度：千円（見込）
利用料金制	採用している		選定方式	公募		応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和4年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、支援員が随時実施	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 備品等の管理状況の把握が一部不十分である。
	(施設サービスの運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、保護者会の開催、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和4年度4,585千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。 (改善を要した事項と対応) 個人情報の取り扱いについて、法人としてのルールが不十分であったので、改善を図った。 (課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日数： 261日 ・延べ利用者数： 7,601名 ・平均登録児童数： 39名 	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和4年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> ■収入 (12,574千円) 保育料等 3,995千円 補助金 8,580千円 ■支出 (12,574千円) 人件費 10,103千円 管理運営費 2,471千円	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> ■収入 (14,520千円) 保育料等 4,585千円 補助金 9,935千円 ■支出 (14,441千円) 人件費 12,175千円 管理運営費 2,266千円	(よかったと評価できる事項) 市補助金支給要綱に基づき適正に運営された。
			(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	今年度は3回保護者会を行い、子どもたちの学童での様子を報告した。個々のことはお迎え時や電話にてお伝えしている。
評価頂いている内容	日々の感染症対策をしながらの保育に、安心して預けられたと感謝して頂いた。また、工作や遊びなど、普段できない体験ができるので子どもが楽しく通っている。外で思い切り遊ぶことができる。その他、子どもに常に寄り添っていただき感謝しているという声を頂いた。
苦情・意見等	特に大きな苦情は頂いていません。日々のトラブルは、すぐに話を聞いて対応し、保護者の方にお伝えしている。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

外国籍の子が増えてきている。保護者は日本語が話せないため、トラブルがあった時や日々の様子、連絡事項などは携帯の翻訳アプリを使ってお伝えするが、上手く伝わらないことが多い。定期的に通訳の方が来てくれるような体制づくりをお願いします。

6. 指定管理者の自己評価コメント

今年度もコロナの影響で、ほとんどの保護者会行事が中止になったが、高学年合宿の代わりとして、高学年を対象に水釜陶芸の里で、絵付け体験を行った。これを機に次年度は様々な行事を行うことが出来ればと思う。学習会や研修会に積極的に参加するよう努めた。毎日、保育日誌をもとに指導員間でミーティングを行い、情報共有を行った。地元の消防団による避難訓練や地域で活動しておられる方にけん玉教室を行っていただいた。これからも地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが安心、安全に過ごせる場所を作っていきたいと思います。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切に活動を取り入れる等の工夫や姿勢などが評価できる。一方で、個人情報の取り扱いについてルールが不十分な点があったので、適正な対応に努めていただきたい。
引き続き、地域や小学校と連携を深め、支援員間で連絡を密にしながら、一段のサービス向上及び適正な施設の維持管理に努めていただきたい。